

学生と市民が社会問題について意見交換する「ティーチン岡山」 2012年12月、横川さん提供



## 岡山大大学院教育学研究科

岡山大大学院教育学研究科は、教職員を目指す学生と市民が社会問題について語り合う催し「ティーチン岡山」に取り組んでいる。地域と連携した教育を実践できる人材の育成などが目的。次回は18日午後6時半から岡山市北区伊島町の京山公民館で、「いじめ問題」を取り上げる。(平松隆)

# 地域連携教育 人材育成へ

ティーチン岡山は、一般の参加も呼びかけている。同科院生の企画を元に掛けている。18日は、はじめに認知

昨年5月にスタート。大津市の中学2年男 件数の推移や、県教委の毎回異なるテーマを設定 子生徒の自殺などを受 対策など県内の現状につ け1時間半から2時 け、緊急性の高い課題 いて学生が説明。その後、岡山市内で開催し としてクローズアップ いじめ根絶に向け、関係 ている。学校教育の重 重されているいじめ問 機関や地域住民はど 要課題に対し自分た 題。県内でも、小中 学わっていくべきな かができるかを考 校、高校における認 知を、具体的な事例を もとえ、社会全体で取り 組 件数が、昨年4月 9 に話し合う。 む解決策を探ろうと、 月上旬だけで1258 企画に携わる同科院 生 次回はいじめ問題に 焦 件と、2011年度 総 横川和成さん(23) は 点を当てることにし 数 の1.5倍に急増し 「一般の人が加わること

## 学生と市民 社会問題で語り合う

### 18日は「いじめ」テーマ

で、話の幅が広がる。さまざまな意見に触れられる場にしていきたい」と話している。参加は無料。希望者は事前に横川さん(メール) (okayama-shakaiika@yahoo.co.jp) で申し込む。ティーチン岡山はこれまで同公民館などで3回開催。「みんなで平和について考えてみよう!」「文化や習慣、価値観の違いをこえてつながるには?」「森永ヒ素ミルク中毒事件を考えよう」の3テーマで意見交換している。